

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- ・地域移行支援の実動チームとして分科会4チーム(進め隊、広め隊、深め隊、調べ隊)を構成する。
- ・各チームには、精神科病院や、障害サービス事業者、行政等から職員が参加し、総勢54名からなる(R2.2月時点)。
- ・各々のチームが、それぞれにテーマに応じて、積極的に活動し、本事業以外の場面においても、病院と地域間の連携が活発になる。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
地域住民への理解および関心の喚起がなかなか進まない。	地域住民にとって受け入れやすい内容、方法、場所等をよく検討の上、実施していく。	本年度は、市内6区にて、1区1公民館(中央区のみ2公民館)にて、市民向け講演会を実施。
ピアサポーターの活用・養成	まず、代表的な活用モデルをひとつ確立し、他にも拡大・応用を図っていく。 サポーター養成についても、積極的に検討、実施していく。	現在、市内で活躍するピアサポーター同士の交流会を2回実施、今後の要請を視野に入れた公開セミナーを3回実施。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①地域移行支援プログラムの実施	2病院	4病院	患者のニーズに合わせた支援展開を行う。
②地域住民等への広報、啓発活動の実施	6区	6区	市内6区全て1公民館ずつ講演を行う。
③ピアサポーターの活用、養成。	5回	5回	ピアサポーター同士の交流会を2回、ピア活用、養成のため公開セミナーを3回実施。

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。